

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ES細胞・iPS細胞臨床研究指针对策費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	研究開発振興課		課長:一瀬 篤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-8-1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針 (平成22年厚生労働省告示第380号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒト幹細胞を用いる臨床研究(以下、「ヒト幹細胞臨床研究」という。)を実施する機関における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針の整備状況等について調査を行い、調査結果を再生医療推進のための企画・立案に役立てることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ヒト幹細胞臨床研究を実施する全国の大学医学部、研究機関等における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針の整備状況等について委託調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	16	14	14	14	14	
		補正予算	▲ 8					
		繰越し等						
	計	8	14	14	14	14		
	執行額	3	12	14				
執行率 (%)	37.5%	85.7%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	実態を把握した機関数			機関	103	109	81	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査票を送付した機関数			機関	130	124 (130)	139 (139)	— (—)
単位当たりコスト	167,222(円/機関)		算出根拠	13,545,000円/81機関(実態を把握した機関数)=167,222円/機関				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医薬品等試験調査委託費	14	14	—				
	計	14	14					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価入札で選定しており、妥当。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	必要最低限の経費のみを予算計上している。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	最小限の費用で効果的な成果を見出せた。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業内容を達成するため、必要な経費のみの計上と考え		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	十分調査票が送付できた。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		△	回答数が前年度より少なかったが、十分回答を得られたので、再生医療の迅速な実用化に向けた政策決定に活用できた。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
点検結果	再生医療は成長分野なので、研究情勢の変化が速い。そのため、必要に応じ調査項目を変更したり、よりよい調査とするため、今後とも適切な予算措置をしてまいりたい。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費については、ヒト幹細胞臨床研究を実施する機関における研究の実施状況等について調査を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であるが、必要に応じ予算の縮減に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	平成26年度概算要求においては、これまでの執行状況等を踏まえ、効率化できる経費について予算の縮減(25年度予算額から▲766百万円)を行った。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	240	平成23年	0214	平成24年	181

厚生労働省
平成24年度 14百万円

(ES細胞やiPS細胞を使用した臨床研究を検討している施設に対し実地調査を行う)



【一般競争入札】

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
14百万円

(ES細胞やiPS細胞を使用した臨床研究を検討している施設に対し実地調査を行う)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員に係る人件費	8			
需用費	業務にかかる消耗品費、通信運搬費等	5			
旅費	研究員に係る旅費	0.4			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	ES細胞・iPS細胞を用いた臨床研究実施計画についての審査業務	14	3	95.50%